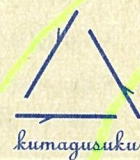


世界徒歩旅行学会

2023 12/20 - 24

わたしは歩いて
行きます

Art and Study vol,1



歩行は、実にありふれた行為であるがゆえに、いかに自分たちを規定し、世界との関わりを紡いでいるのか、それほど着目されてくることはありませんでした。しかし、人類学やアートといった文脈から、近年「歩く」ということに注目が集まっています。普段何気なく行っている歩行というテーマの後ろにある世界の広がりを考えることは、個人という線引きを揺るがし、関係の「網細工」を形成しながら、これからの「物語」を編み込んでいく共同作業であると考えます。

「**世界徒歩旅行学会**」は、ある展覧会開催のために集まった4人（荒井、来田、山本、吉本）が行っていた読書会をきっかけに2年前からスタートしたグループです。

私たちは、ティム・インゴルドの著書『ライズ』における「徒歩旅行」という概念を思索の中心に据え、歩行と思考、そして制作をからめて、アートと人類学の境界を見据えながら、新たな表現の形を模索してきました。その第一回目となる本展は新たにメンバー（ハブヒロシ）を迎え、これまでの制作や研究、実施してきたワークショップなどを振り返りながら、作品展示と対話を通じて、参加者と共に「歩行」のもつ可能性を再考します。

メンバー

荒井規向（文化人類学者 / ラテンアメリカ研究者）、来田広大（美術家）、ハブヒロシ（アーティスト / 疫学研究者）、山本聖子（美術家）、吉本和樹（写真家）

公開研究会 @ クマガスク

第1回 「わたしは歩いて行きます」

2023年12月20日（水）14:00~15:30

「歩く」という行為について、今まで行ってきた読書会、ワークショップ、対話を振り返りながら自由に話します。

第2回 「歩くことで見えてくるもの」 with ハブヒロシ

2023年12月23日（土）14:00~15:30

音楽、映画、アート、呼吸、疫学、と様々な分野間を横断しながら創作 / 研究活動しているハブヒロシを新たなメンバーとして迎え、「歩く」という行為が、どのように研究や創作と関係しているかなどについてメンバー5人でトークセッションします。

第3回 「歩行、贈与、運動」

2023年12月24日（日）15:30~17:00

ラテンアメリカ圏での先住民経済研究をしてきた荒井と、アジア圏のアートアクティビズム運動を研究してきた江上のクロストークを通じて、歩行から浮かび上がるものについてメンバーと話し合います。

ゲスト 江上賢一郎（文化研究、東京藝術大学特任助教）

福岡県生まれ。ロンドン大学ゴールドスミス校 文化人類学修士課程修了。

2010年代におけるアジアのアート・アクティビズム、自主管理空間を中心にリサーチを行っている。

福岡市内のアートスペース「art space tetra」運営メンバー。

●会場の半分は屋外となっておりますので、暖かい服装でお越しください。

世界徒歩旅行学会 Art and Study vol.1

「わたしは歩いて行きます」

日程：2023年12月20、21、22、23、24日

時間：水～金 11:00～17:00 土日 11:00～18:00

協力：京都大学「分野横断プラットフォーム構築事業 2023」
（学際融合教育研究推進センター、学術研究展開センター）

kumagusuku

〒604-8805

京都市中京区壬生馬場町37-3

TEL 075-432-8168

阪急大宮駅より徒歩 8分

JR・地下鉄東西線二条駅より徒歩 10分。

京都市バス「みぶ操車場前」より徒歩 1分

駐輪場・駐車場のご用意はございません。

公共交通期間、またはお近くの有料駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。

